

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2006-525018(P2006-525018A)

【公表日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2006-509456(P2006-509456)

【国際特許分類】

<b>A 0 1 K</b>	<b>11/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 6 Q</b>	<b>50/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 6 K</b>	<b>17/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 6 K</b>	<b>19/07</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 6 K</b>	<b>19/00</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

A 0 1 K	11/00	Z
G 0 6 F	17/60	1 0 2
G 0 6 K	17/00	F
G 0 6 K	17/00	L
G 0 6 K	19/00	H
G 0 6 K	19/00	Q

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月5日(2007.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固有の識別子を家畜に提供すること、

該家畜に関する記録を開始するために、マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に該識別子を入力することと、

該家畜に関する情報を該記録に記録および格納することと、

該情報を処理することにより、該家畜に関して次に実行されるべきタスクを作成すること、

データ列をディスプレイ装置上に表示することにより、該家畜に関して次に実行されるべきタスクを動物の飼育者に示すことと

を包含する、家畜情報を管理するための方法。

【請求項2】

前記識別子は、前記家畜を視覚的に識別し、いかなる電子要素または電気要素をも含まない、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記入力する工程が、マイクロホンおよび音声認識ソフトウェアを備える前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に前記識別子を話すことを包含し、その結果、該話された識別子がコンピュータアクセス可能な情報に変換され、前記家畜に関する前記記録を開始するために該マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置中に格納される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記入力する工程が、キーボードまたは他の入力装置を使用して、前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に識別子を入力することを包含する、請求項2に記載の方法。

【請求項 5】

前記識別子が、無線周波数励振に応答して英数字番号を提供するための電子トランスポンダから構成される、請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に入力するために前記ディスプレイ装置上に前記英数字番号を表示することをさらに包含する、請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

前記入力する工程が、マイクロホンおよび音声認識ソフトウェアを備える前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に前記英数字番号を話すことを包含し、その結果、該話された英数字番号がコンピュータアクセス可能な情報に変換され、前記家畜に関する前記記録を開始するために該マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置中に格納される、請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

前記入力する工程が、キーボードまたは他の入力装置を使用して、前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に前記英数字番号を入力することを包含する、請求項6に記載の方法。

【請求項 9】

前記英数字番号と実質的に同時に、前記ディスプレイ装置上に前記家畜情報を表示することをさらに包含する、請求項6に記載の方法。

【請求項 10】

前記ディスプレイ装置は、前記動物の飼育者が第2の動物の飼育者に物理的に指示を伝える必要性を除去する大きなディスプレイ装置である、請求項1に記載の方法。

【請求項 11】

前記タスクが完了するときを第2の動物の飼育者に示す工程をさらに包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項 12】

家畜を区別するための固有の識別子と、  
該家畜に関する記録を開始するために該識別子を入力するための、および該家畜に関する情報を該記録中に記録および格納するためのマイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置と、

該情報を処理することにより、該家畜に関して実行されるべきタスクを作成するグローバル動物管理サーバと、

該家畜に関して次に実行されるべきタスクを動物の飼育者にデータ列で示すディスプレイ装置と

を備える、家畜情報を管理するシステム。

【請求項 13】

前記識別子が、前記家畜を視覚的に識別し、いかなる電子要素または電気要素をも含まない、請求項12に記載のシステム。

【請求項 14】

前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置が、マイクロホンおよび音声認識ソフトウェアを備え、該マイクロホンおよび音声認識ソフトウェアは、前記家畜に関する前記記録を開始するために、該マイクロホンに話された前記識別子を受信するための、および前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置中に格納されるコンピュータアクセス可能な情報に該話された識別子を変換するためのマイクロホンおよび音声認識ソフトウェアである、請求項13に記載のシステム。

【請求項 15】

前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置が前記識別子を入力するためのキー ボードまたは他の入力装置を備える、請求項 1 3 に記載のシステム。

【請求項 1 6】

前記識別子が、無線周波数励振に応答して英数字番号を提供するための電子トランスポンダから構成される、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 7】

前記ディスプレイ装置は、前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に入力された前記英数字番号を表示する、請求項 1 6 に記載のシステム。

【請求項 1 8】

前記英数字番号が、マイクロホンおよび音声認識ソフトウェアを備える前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に話され、その結果、該話された英数字番号がコンピュータアクセス可能な情報に変換され、前記家畜に関する前記記録を開始するために該マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置中に格納される、請求項 1 7 に記載のシステム。

【請求項 1 9】

キー ボードまたは他の入力装置を使用して、前記英数字番号が前記マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に入力される、請求項 1 7 に記載のシステム。

【請求項 2 0】

前記ディスプレイ装置は、実質的に同時に前記英数字番号とともに前記家畜情報を表示する、請求項 1 7 に記載のシステム。

【請求項 2 1】

前記ディスプレイ装置は、前記動物の飼育者が第 2 の動物の飼育者に物理的に指示を伝える必要性を除去する大きなディスプレイ装置である、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 2 2】

固有の識別子を家畜に提供することと、

該家畜に関する記録を開始するために、マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に該識別子を入力することと、

該家畜に関する情報を該記録に記録および格納することであって、該入力する工程および／または記録する工程が、該マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に接続されたマイクロホンを介して該識別子および／または情報を該装置に話し、音声認識ソフトウェアでその話を解釈することを包含し、その結果、該話された識別子および／または情報がコンピュータアクセス可能な情報に変換され、該マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置に格納される、ことと、

該情報を処理することにより、該家畜に関して実行されるべきタスクを作成することと、

電子ユニットを用いることにより、該家畜に関して次に実行されるべきタスクを動物の飼育者に示すことと

を包含する、家畜情報を管理するための方法。

【請求項 2 3】

家畜を区別するための固有の識別子と、

該家畜に関する記録を開始するために該識別子を入力するための、および該家畜に関する情報を該記録中に記録および格納するためのマイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置と、

該情報を処理することにより、該家畜に関して実行されるべきタスクを作成するグローバル動物管理サーバと、

該家畜に関して次に実行されるべきタスクを動物の飼育者に示す電子ユニットと、

マイクロホンおよび音声認識ソフトウェアと

を備え、該マイクロホンおよび音声認識ソフトウェアは、該家畜に関する該記録を開始するために、該マイクロホンに話された該識別子を受信するため、および該マイクロプロセッサ制御されたプログラム可能な装置中に格納されるコンピュータアクセス可能な情報

に該話された識別子を変換するためのマイクロホンおよび音声認識ソフトウェアである、  
家畜情報を管理するためのシステム。